

逗子市教育委員会教育長 様

逗子市立逗子中学校長
(公 印 省 略)

平成30年度 「学校関係者評価」年度末評価について(報告)

次のとおり 平成30年度 学校関係者評価における年度末評価をご報告します。

三つの柱	項 目 (重点としたものに○)	学校の目標達成状況及び学校の取組の適切さ、改善方策について等の意見(外部評価者からの指摘を基に記載)
I 授業づくり	1 授業力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト返却の時にテスト範囲の振り返りを実施していたのは良いことと考えている。授業を見た家庭科でも自己評価をさせていたことは深い学びへの取り組みへつなげると考えている。 ・夏の発展的補習については柔軟性を持った対応がほしい。 ・特別な教科道徳では横断的な取り扱いとグローバルな視点での教材選択がほしい。
	2 多様な教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事などの教科外での活動を教科として考えて、結びつけることが大切になっている。 ・今まで手厚かった部分がなくなって職員が担うことが増えてきている。困った生徒を支援する考え方にシフトしてもらいたい。
II 集団づくり	1 認め合う集団づくりをめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な生徒の存在をもっと理解させていかなければならない。生徒の多様性についての共通理解をもっと必要であろう。職員の生徒理解への研修が必要であろう。
III 学校組織づくり	1 支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が高齢化し、学校へのボランティアも人数が減少傾向である。中学生も地域のボランティアに力を貸してもらいたい。 ・初任者へも支援教育の考え方を示して理解を深めさせてほしい。
	2 安全・安心に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者地域への情報提供が少なく、学校のことがよくわからない状態がある。わからないから、学校への問い合わせも増えているのではなかろうか？
	3 研修・研究の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 高校との連携をさらにすすめていってほしい。 ・校庭の敷地境界の樹木を伐採したので見通しがよくなり、不審者などの隠れ場所となくなっている。生徒の活動が校外から見えることによって開かれた感じがする。
	4 開かれた学校づくり	